

救急救命士学科

科目名	総合基礎Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Basics			総時間数	70	単位	総合基礎Ⅲ すべてで17
学年	3	学期	通年	曜日	期間中随時	時限	5・6

担当教員	植田 重幸	実務者経験	
------	-------	-------	--

学習内容	公務員採用試験の教養試験に際し、一般形式、SPI-3方式、SCOA方式の全てに対応できるための学力を養う。 公務員採用試験の作文・小論文試験に際し、その作成表記指導を行う。
到達目標	公務員採用試験の教養試験に対応できる応用力を習得できる。

準備学習 時間外学習	講義終了後の復習は各自で必要
使用教材	プリント資料等
留意点 備考	

成績評価	公務員模擬試験
------	---------

回	月日	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	5月13日	ガイダンス	地方公務員採用試験 学習スケジュール説明、昨年度の傾向と今年度の対策説明等
2	5月18日	数的推理分野 文章問題対応	和差算、平均算、集合算等
3	5月19日	同上 割合と比の利用	濃度算、仕事算、損益算等
4	5月26日	同上 速さに関する問題	速度算、通過算、流水算等
5	6月8日	同上 確率に関する問題①	場合の数、順列、組合せ等
6	6月9日	同上 確率に関する問題②	確率、期待値等、余事象の確率
7	6月10日	同上 平面図形の性質①	平面図形の基本性質、相似の利用等
8	6月15日	同上 平面図形の性質②	三角形の利用、円の性質等、円周角定理、接弦定理
9	6月16日	同上	記数法、対称式、数列の解法等、N進数、等差数列、階差数列
10	6月30日	判断推理分野	命題と集合、対偶、三段論法、部分集合、全体集合
11	7月7日	同上	順序に関する問題
12	7月8日	同上	真偽に関する問題
13	7月14日	同上	対応関係に関する問題①
14	7月21日	同上	対応関係に関する問題②
15	7月22日	同上	方位・位置関係に関する問題
16	8月4日	同上	平面図形の利用に関する問題
17	8月5日	判断推理分野	立体図形の利用に関する問題、空間把握
18	8月17日	自然科学分野 物理	エネルギー保存の法則 位置エネルギー、運動エネルギー
19	8月17日	同上	等速運動、等加速度運動、物体の落下運動、水平・上方投射、移動距離
20	8月18日	同上	波動；音と光の性質
21	8月18日	同上	電気回路；電力と電力量、ジュールの法則
22	8月25日	自然科学分野 化学	原子と分子、原子量、化学式の作り方
23	8月25日	同上	気体の状態、気体の性質ボイル・シャルルの法則等
24	8月31日	同上	酸と塩基、中和反応、炭素化合物の燃焼反応、電気分解等
25	8月31日	自然科学分野 生物	植物の三作用、光合成等、植物細胞と動物細胞
26	9月1日	同上	生物と遺伝、食物連鎖、メンデルの法則
27	9月1日	自然科学分野 地学	地球の構造、大気の構造、気象現象等
28	9月2日	同上	マグマの組成と性質、火成岩と堆積岩等
29	9月2日	社会科学分野 政治	日本の政治の歴史
30	9月8日	同上	日本国憲法 統治行為、権力分立、地方自治
31	9月8日	同上	基本的人権、包括的基本権、新しい人権
32	9月9日	社会科学分野 経済	戦後の日本経済の推移、金融政策と財政政策
33	9月9日	同上	国民経済と景気変動、国民所得と三面等価、所得の再分配
34	9月16日	社会科学分野 経済	世界の地域経済の発展、EU、TPP等地域経済協定
35	9月16日	同上 時事問題	昨年度における時事問題

救急救命士学科

科目名	総合基礎Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Basics			総時間数	20	単位	総合基礎Ⅲ すべてで10
学年	3	学期	前期	曜日	水金	時限	5・6

担当教員	南 雅子	実務者経験	
------	------	-------	--

学習内容	公務員、社会人として求められる文章読解の知識を習得し、様々な実践問題の取り組みとその解説授業を通して、筆記試験に対応できる実践力をつけていく。
到達目標	さまざまな実践問題を解いていくことにより、問題に慣れ問題解法のポイントをおさえ、問題を解く力をつけていくようにする。

準備学習 時間外学習	一般教養問題に対応するために、これまでの言語の知識を見直すことが望ましい。
使用教材	プリント教材
留意点 備考	授業以外で取り組める教材プリントの配布をするので、各自多くの問題を解くことを勧める。

成績評価	
------	--

回	月日	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	4月17日	総合基礎Ⅲ 1	現代文演習(内容把握、空所補充、整序問題)/四字熟語/漢字問題/英語文章問題/対義語 文章理解一特に内容把握問題解法のポイントを正しく抑えることができる。 文
2	4月17日	総合基礎Ⅲ 2	現代文演習(整序問題、内容把握)/漢字問題/文法問題/英語会話問題の理解 文章理解一特に整序問題解法のポイントを正しく抑えることができる。 文章
3	5月20日	総合基礎Ⅲ 3	現代文演習'空所補充、内容把握)/熟語問題/同意語/英語長文問題/英文法(前置詞、接続詞) 文章理解一特に空所補充問題解法のポイントを正しく抑えることができる。
4	5月29日	総合基礎Ⅲ 4	英語会話問題/よく出る英語問題/現代文解練習問題/漢字関連問題/敬語、謙譲語 英語会話問題の練習により問題に慣れ、解法のポイントを理解することができる。
5	5月29日	総合基礎Ⅲ 5	英語文理解(内容把握)/現代文練習問題/ことわざ/漢字の読み方問題/同音異義語/助詞 英語長文問題の練習により問題に慣れ、解法のポイント理解することができる。
6	6月3日	総合基礎Ⅲ 6	現代文総合問題(内容把握/整序問題/空所補充)/ことわざ/英語総合問題(文章、文法) 総合問題を解くことにより、全体の時間配分などをつかむことができる。
7	6月17日	総合基礎Ⅲ 7	要旨把握問題強化/英語理解問題強化/SPI問題対策/言語能力問題対策 現代文における要旨把握問題の文章の理解力を高めるようにする。
8	7月1日	総合基礎Ⅲ 8	実践総合問題(現代文、英語、漢字問題、文法問題)/敬語、謙譲語まとめ/英語空所補充問題 総合問題の解法、解説を通して文章理解問題解法力の強化を目標とする。
9	7月15日	総合基礎Ⅲ 9	実践総合問題(現代文、英語、漢字問題、文法問題)/言語能力問題/英語空所補充問題 総合問題の解法、解説を通して文章理解問題解法力の強化を目標とする。
10	7月29日	総合基礎Ⅲ 10	まとめ学習一現代文内容把握、整序問題、空所補充、漢字問題/英語長文、会話/文法問題 文章理解の問題の見直しをすることで、総合的な問題解法力をつけることを目標とする。
11			
12			
13			
14			
15			

救急救命士学科

科目名	総合基礎Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Basics			総時間数	20	単位	総合基礎Ⅲ すべてで10
学年	3	学期	前期	曜日	火水木	時限	5・6

担当教員	岡井保千代 白井 弘子	実務者経験	
------	----------------	-------	--

学習内容	自己分析、エントリーシートの書き方、企業研究の仕方、自己PR・志望動機作成、面接マナー、面接答え方のポイント、模擬面接（個人面接、集団面接）、グループディスカッション面接
到達目標	・志望する行政、企業の内定を取るために、就活の流れおよび準備内容を理解し、書類作成、模擬面接を体験し、習得する。

準備学習 時間外学習	
使用教材	・ACオリジナルプリント
留意点 備考	

成績評価	実技（グループディスカッション・集団模擬面接）
------	-------------------------

回	月日	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	5月12日	就活の流れ 自己分析	・就活の流れや就活に向けて準備することのポイント ・自己分析の重要性
2	5月12日	自己分析	・パーソナル履歴シート ・パーソナルデータシート ・美点凝視 ・自己PR、学チカ組み立てシート（できなかった人は宿題）
3	5月14日	エントリーシート作成	・エントリーシートの書き方ポイント ・良いエントリーシート、悪いエントリーシート ・自己PR文と学生時代に頑張ったことを400字詰め原稿用紙に作成する（講師添削）
4	5月14日	志望動機作成	・企業研究の重要性と研究の方法 ・志望動機の書き方とポイント・良い志望動機、悪い志望動機 ・400字詰め原稿用紙に志望動機を作成する（講師添削）
5	5月27日	面接マナー	・求められる人物像 ・第一印象の重要性（みだしなみ、お辞儀、表情、挨拶） ・入退室マナーのロールプレイング
6	5月27日	面接の受け答え	・質問に対する感じの良い答え方と面接会話の留意点・エントリーシート、志望動機を完成させる（講師添削） ・面接でよく聞かれる質問例の答えを準備する
7	6月2日	模擬面接 個人面接	・3人組で模擬面接実施（面接官、受験者、評価者） ・エントリーシート、志望動機の見直し ・面接でよく聞かれる質問例の体験
8	6月2日	模擬面接 集団面接①	・面接官グループ、受験者グループ、見学グループの3つに分けて実施 ・評価シートの書き方 ・講師からの個別評価および全体総評
9	6月24日	グループディスカッション 面接	・グループディスカッション面接の概要 ・役割分担、進め方、テーマ例、ポイント ・ショートディスカッションの実施（討論型） ・ディスカッションの実施（コンセンサス型）
10	6月24日	模擬面接 集団面接②	・面接官グループ、受験者グループ、見学グループの3つに分けて実施 ・個別評価および全体総評 ・①で受けた評価が改善されているかチェック ・全体のまとめ
11			
12			
13			
14			
15			

救急救命士学科

科目名	総合基礎Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Basics			総時間数	40	単位	総合基礎Ⅲ すべてで10
学年	3	学期	前期	曜日	月金	時限	5・6

担当教員	森田ますみ	実務者経験	
------	-------	-------	--

学習内容	自分をとりまく社会・文化・自然を言語系学習を通して学び、聞く・読む・書く力をつける
到達目標	自分と自分を支える社会と自然について、自らの言葉で語り、綴る力をつける

準備学習 時間外学習	日常生活の中で自分の長所・個性・得意点を発見し、自覚的に伸ばす努力をする
使用教材	テキストSPI3、論文・論説文・記録文・新聞・雑誌、文学作品（小説・随筆・日記・紀行文等）
留意点 備考	毎時間ごとの小テスト（読字・音読・読解）、提出物（要約・気づき短文・作文・小論文）

成績評価	
------	--

回	月日	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	5月15日	文章と読解	様々な種類の文章を通読し、分析力・読解力を養う
2	5月15日	文章と読解	様々な種類の文章を通読し、分析力・読解力を養う
3	5月25日	文章と要約	様々な種類の文章を読解し、本質を要約する（主述）
4	5月25日	文章と要約	様々な種類の文章を読解し、本質を要約する（主述）
5	6月4日	文章と論理力	発想力を育てる（マインドマップ・連想トレーニング等々）
6	6月4日	文章と論理力	発想力を育てる（マインドマップ・連想トレーニング等々）
7	6月12日	論理力とことば	①話の筋道をたてる
8	6月12日	論理力とことば	②物事を関連づける力を育てる
9	6月19日	論理力と演習	話の筋道を立て、物事を関連づける作文、小論文を書く
10	6月19日	論理力と演習	話の筋道を立て、物事を関連づける作文、小論文を書く
11	6月25日	自分に関することがら	国家試験、地方公務員試験のテーマの学習
12	6月25日	自分に関することがら	国家試験、地方公務員試験のテーマの学習
13	7月3日	演習①	全国の既出課題から、自分に必要なものを選択して、作文、小論文を書く
14	7月3日	演習②	全国の既出課題から、自分に必要なものを選択して、作文、小論文を書く
15	7月17日	専門知識について	国家・国民的テーマ「釜石の奇跡」と「大川小の悲劇」比較研究
16	7月17日	専門知識について	国家・国民的テーマ「釜石の奇跡」と「大川小の悲劇」比較研究
17	8月21日	比較研究演習	類似課題を過去問より自分で選んで、作文・小論文を書く
18	8月21日	比較研究演習	類似課題を過去問より自分で選んで、作文・小論文を書く
19	8月29日	時事問題について	類似課題を過去問より自分で選んで、作文・小論文を書く
20	8月29日	時事問題について	類似課題を過去問より自分で選んで、作文・小論文を書く

救急救命士学科

科目名	臨床解剖生理学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Clinical Aspects on Anatomy & Physiology			総時間数	15	単位	1
学年	3	学期	後期	曜日	期間中随時	時限	5・6

担当教員	村上秀明、岩本悠里	実務者経験	村上秀明：大阪大学歯学部附属病院放射線科と医学部附属病院放射線治療科にて31年間の臨床経験。岩本悠里：大阪大学歯学部附属病院放射線科で5年間、医学部附属病院放射線治療科にて4年間の臨床経験。
------	-----------	-------	---

学習内容	救急救命士となるにあたって必要な臨床解剖生理学をマスターする。解剖生理学の総復習
到達目標	人体の解剖学的諸構造と生理学的機能について、適切な解剖学用語と生理学用語を用いて具体的に説明できる。

準備学習 時間外学習	受講後に復習と自己学習をする。練習問題を解いて、テキストで確認する。
使用教材	改訂第9版救急救命士標準テキスト（へるす出版）
留意点 備考	事前に1年次の解剖生理学の復習をして望む

成績評価	試験
------	----

回	月日	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	10月23日	人体の構造と機能	人体各部の名称、細胞と体液
2	10月23日	神経と感覚	能の機能局在、12対の脳神経、自律神経
3	11月6日	循環	動脈の名称、心拍出量
4	11月6日	呼吸	呼吸器の構造、胸郭の機能、呼吸の調節
5	11月20日	消化	胃、小腸、大腸、肝臓、膵臓の構造と機能
6	11月20日	泌尿器・皮膚	尿の生成、汗腺
7	12月4日	血液と免疫	血液の成分、凝固系、非特異免疫、アレルギー
8	12月4日	テスト	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

救急救命士学科

科目名	小児救急疾患			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Pediatric Emergencies			総時間数	32	単位	2
学年	3	学期	前期	曜日	月	時限	5・6

担当教員	高屋 淳二	実務者経験	1983年より大学病院および市中病院で小児科診療および教育と研究に従事。
------	-------	-------	--------------------------------------

学習内容	小児・新生児疾患の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。
------	--------------------------------------

到達目標	小児・新生児の特性と分類、生理学的特長、観察と判断・応急処置と搬送法、小児に特有な救急疾患について理解し説明ができる。
------	---

準備学習	テキストの用語の読み方や意味を調べておく。
------	-----------------------

時間外学習	受講後に復習と自己学習をする。過去問題を解いて、テキストで確認する。
-------	------------------------------------

使用教材	改訂第9版または10版救急救命士標準テキスト（へるす出版）
------	-------------------------------

留意点 備考	
-----------	--

成績評価	終講義試験
------	-------

回	月日	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	7月6日	染色体異常・先天異常	染色体異常・先天異常 の特徴を理解する
2	7月6日	新生児	新生児疾患とその疾患を理解する
3	7月20日	代謝疾患	糖尿病、ケトアシドーシス、その合併症の病態を理解する
4	7月20日	内分泌疾患	副腎疾患、小児の甲状腺疾患を理解する
5	8月3日	免疫・アレルギー	アレルギーのしくみとその疾患について知る
6	8月3日	膠原病 川崎病	膠原病や川崎病とその病状を理解する
7	8月24日	呼吸器疾患	喘息やクループへの対応方を知る
8	8月24日	感染症 1	代表的なウイルス感染症を理解する
9	9月7日	感染症 2	代表的な細菌感染症を理解する
10	9月7日	循環器疾患	先天性心疾患を知る
11	9月28日	血液・腫瘍疾患	小児の白血病、貧血、固形腫瘍を理解する
12	9月28日	消化器疾患	新生児から小児の消化器疾患を理解する
13	10月12日	神経疾患 1	水頭症やてんかん
14	10月12日	神経疾患 2	熱性痙攣への対応、その他の痙攣
15	10月26日	小児の成長	小児の成長の特徴を理解する
16	10月26日	小児の成長	まとめ

救急救命士学科

科目名	高齢者救急疾患			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Geriatric Emergencies			総時間数	16	単位	1
学年	3	学期	前期	曜日	期間中随時	時限	5・6

担当教員	喜代平 要一	実務者経験	29年の消防経験(H13.救急救命士) 薬剤・挿管認定救急救命士
------	--------	-------	-------------------------------------

学習内容	高齢社会となり、増加し続ける高齢者の救急搬送に対応できるように高齢者の特徴等を学習する。
到達目標	高齢者の身体所見の特徴と特有の疾患を理解し、説明することができ、国家試験において一般問題だけでなく、症例問題にも十分に対応できる知識を身につける。

準備学習 時間外学習	標準テキストの閲読と予習復習プリントの実施
使用教材	救急救命士 標準テキスト 第9版または10版 出版社(へるす出版)
留意点 備考	

成績評価	五肢択一もしくは択二の筆記試験で評価する。
------	-----------------------

回	月日	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	8月1日	高齢者の特徴	加齢による身体機能の変化について
2	8月1日	高齢者の特徴	高齢者の特徴からの現場活動での注意点
3	8月28日	高齢者に特有の疾患	脳血管障害とそれに伴う症状
4	8月28日	高齢者に特有の疾患	認知症(アルツハイマー病など)とそれに伴う症状
5	9月4日	高齢者に特有の疾患	肺炎、COPDとそれに伴う症状
6	9月4日	高齢者に特有の疾患	虚血性腸炎、前立腺肥大症、廃用症候群とそれに伴う症状
7	9月11日	高齢者に特有の疾患 外傷	骨粗鬆症、脊椎圧迫骨折、四肢の骨折
8	9月11日	まとめ	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

救急救命士学科

科目名	シミュレーション実習Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Simulation Training			総時間数	315	単 位	7
学 年	3	学 期	通年	曜 日	期間中随時	時 限	5・6

担当教員	森本 幸夫 喜代平 要一 大崎 聖敏	実務者経験	40年の消防経験(H4. 救急救命士) 29年の消防経験(H13. 救急救命士) 10年の消防経験(H19. 救急救命士)
------	--------------------------	-------	---

学習内容	基礎を振り返り、想定訓練を行う。
到達目標	現場対応が十分にできる。また国家試験の症例問題に十分に対応できる。

準備学習 時間外学習	実技を各自で行う。
使用教材	救急救命士 標準テキスト 第9版または10版 出版社(へるす出版)、配布プリント
留意点 備 考	

成績評価	
------	--

回	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	想定訓練	シミュレーション
2	想定訓練	シミュレーション
3	想定訓練	シミュレーション
4	想定訓練	シミュレーション
5	想定訓練	シミュレーション
6	想定訓練	シミュレーション
7	体力訓練	
8	体力訓練	
9	想定訓練	シミュレーション
10	想定訓練	シミュレーション
11	想定訓練	シミュレーション
12	想定訓練	シミュレーション
13	ガイダンス 想定訓練	堺市消防局ガイダンス シミュレーション
14	ガイダンス 想定訓練	堺市消防局ガイダンス シミュレーション
15	想定訓練	シミュレーション

16	想定訓練	シミュレーション
17	想定訓練	シミュレーション
18	想定訓練	シミュレーション
19	体力訓練	
20	体力訓練	
21	想定訓練	シミュレーション
22	想定訓練	シミュレーション
23	想定訓練	シミュレーション
24	想定訓練	シミュレーション
25	想定訓練	シミュレーション
26	想定訓練	シミュレーション
27	想定訓練	シミュレーション
28	想定訓練	シミュレーション
29	想定訓練	シミュレーション
30	想定訓練	シミュレーション
31	体力訓練	
32	体力訓練	
33	想定訓練	シミュレーション
34	想定訓練	シミュレーション
35	想定訓練	シミュレーション
36	想定訓練	シミュレーション
37	想定訓練	シミュレーション
38	想定訓練	シミュレーション
39	想定訓練	シミュレーション
40	想定訓練	シミュレーション
41	想定訓練	シミュレーション
42	想定訓練	シミュレーション
43	想定訓練	シミュレーション

44	想定訓練	シミュレーション
45	体力訓練	
46	体力訓練	
47	想定訓練	シミュレーション
48	想定訓練	シミュレーション
49	想定訓練	シミュレーション
50	想定訓練	シミュレーション
51	想定訓練	シミュレーション
52	想定訓練	シミュレーション
53	想定訓練	シミュレーション
54	想定訓練	シミュレーション
55	想定訓練	シミュレーション
56	想定訓練	シミュレーション
57	想定訓練	シミュレーション
58	想定訓練	シミュレーション
59	特定行為	異物除去、特定行為
60	特定行為	異物除去、特定行為
61	特定行為	異物除去、特定行為
62	特定行為	異物除去、特定行為
63	特定行為	血糖測定、ブドウ糖投与
64	特定行為	血糖測定、ブドウ糖投与
65	特定行為	心停止前の輸液
66	特定行為	心停止前の輸液
67	PCEC	シミュレーション
68	PCEC	シミュレーション
69	PSLS	シミュレーション
70	PSLS	シミュレーション
71	想定訓練	シミュレーション

72	想定訓練	シミュレーション
73	想定訓練	シミュレーション
74	想定訓練	シミュレーション
75	想定訓練	シミュレーション
76	想定訓練	シミュレーション
77	想定訓練	シミュレーション
78	想定訓練	シミュレーション
79	想定訓練	シミュレーション
80	想定訓練	シミュレーション
81	想定訓練	シミュレーション
82	想定訓練	シミュレーション
83	想定訓練	シミュレーション
84	想定訓練	シミュレーション
85	想定訓練	シミュレーション
86	想定訓練	シミュレーション
87	想定訓練	シミュレーション
88	想定訓練	シミュレーション
89	想定訓練	シミュレーション
90	想定訓練	シミュレーション
91	想定訓練	シミュレーション
92	想定訓練	シミュレーション
93	想定訓練	シミュレーション
94	想定訓練	シミュレーション
95	想定訓練	シミュレーション
96	想定訓練	シミュレーション
97	想定訓練	シミュレーション
98	想定訓練	シミュレーション
99	想定訓練	シミュレーション

100	想定訓練	シミュレーション
101	想定訓練	シミュレーション
102	想定訓練	シミュレーション
103	想定訓練	シミュレーション
104	多言語演習	コミュニケーション能力の向上
105	多言語演習	コミュニケーション能力の向上
106	多言語演習	コミュニケーション能力の向上
107	多言語演習	コミュニケーション能力の向上
108	想定訓練	シミュレーション
109	想定訓練	シミュレーション
110	想定訓練	シミュレーション
111	想定訓練	シミュレーション
112	想定訓練	シミュレーション
113	国家試験対策	症例検討
114	国家試験対策	症例検討
115	想定訓練	シミュレーション
116	想定訓練	シミュレーション
117	想定訓練	シミュレーション
118	想定訓練	シミュレーション
119	国家試験対策	症例検討
120	国家試験対策	症例検討
121	想定訓練	シミュレーション
122	想定訓練	シミュレーション
123	国家試験対策	症例検討
124	国家試験対策	症例検討
125	想定訓練	シミュレーション
126	想定訓練	シミュレーション
127	国家試験対策	症例検討

128	国家試験対策	症例検討
129	想定訓練	シミュレーション
130	想定訓練	シミュレーション
131	国家試験対策	症例検討
132	国家試験対策	症例検討
133	想定訓練	シミュレーション
134	想定訓練	シミュレーション
135	想定訓練	シミュレーション
136	想定訓練	シミュレーション
137	国家試験対策	症例検討
138	国家試験対策	症例検討
139	想定訓練	シミュレーション
140	想定訓練	シミュレーション
141	想定訓練	シミュレーション
142	想定訓練	シミュレーション
143	国家試験対策	症例検討
144	国家試験対策	症例検討
145	想定訓練	シミュレーション
146	想定訓練	シミュレーション
147	想定訓練	シミュレーション
148	想定訓練	シミュレーション
149	国家試験対策	症例検討
150	国家試験対策	症例検討
151	国家試験対策	症例検討
152	国家試験対策	症例検討
153	国家試験対策	症例検討
154	国家試験対策	症例検討
155	国家試験対策	症例検討

156	国家試験対策	症例検討
157	国家試験対策	症例検討
158	国家試験対策	症例検討

救急救命士学科

科目名	救急用自動車・同乗実習Ⅱ			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Ambulance Training			総時間数	45	単 位	1
学 年	3	学 期	通年	曜 日	期間中随時	時 限	5・6

担当教員	森本 幸夫 喜代平 要一 大崎 聖敏	実務者経験	40年の消防経験(H4. 救急救命士) 29年の消防経験(H13. 救急救命士) 10年の消防経験(H19. 救急救命士)
------	--------------------------	-------	---

学習内容	学内にある救急自動車を使用し、訓練する。 地域の消防本部にて同乗実習を行う。
到達目標	救急自動車内での対応ができる。

準備学習 時間外学習	実技を各自で行う。
使用教材	救急救命士 標準テキスト 第9版または10版 出版社（へるす出版）、配布プリント
留意点 備考	

成績評価	
------	--

回	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	搬送法	メインストレッチャーの曳行
2	搬送法	メインストレッチャーの曳行
3	搬入、搬出	救急自動車への搬入と搬出を行う。
4	搬入、搬出	救急自動車への搬入と搬出を行う。
5	観察	救急自動車内での観察
6	処置	救急自動車内での処置
7	処置	救急自動車内での処置
8	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
9	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
10	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
11	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
12	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
13	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション
14	想定訓練	学内の救急自動車を使用してのシミュレーション

15	想定訓練	学内の救急自動車を使用しているシミュレーション
16	想定訓練	学内の救急自動車を使用しているシミュレーション
17	想定訓練	学内の救急自動車を使用しているシミュレーション
18	同乗実習	消防本部での同乗実習
19	同乗実習	消防本部での同乗実習
20	同乗実習	消防本部での同乗実習
21	同乗実習	消防本部での同乗実習
22	同乗実習	消防本部での同乗実習
23	同乗実習	消防本部での同乗実習

救急救命士学科

科目名	総合救急医療Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Emergency Medicine			総時間数	20	単位	総合救急医療Ⅲ すべてで10
学年	3	学期	後期	曜日	水	時限	5・6

担当教員	小笠 智嗣	実務者経験	1990年6月から整形外科医・救急救命医として病院勤務及び大学院にて研究し医学博士修得2000年におがさ整形外科開院。
------	-------	-------	---

学習内容	筋骨格系・皮膚系、熱傷電撃症化学損傷・異物溢類刺咬傷、環境障害、の 総合的理解 と 最終的習得
到達目標	救急救命士として求められる知識を総合的に習得する。

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学・臨床医学各論の予習・復習が必要。
使用教材	教科書「救急救命士標準テキスト」（へるす出版）
留意点 備考	解剖・生理学の教科書を持参して受講することが望ましい

成績評価	国家試験模擬試験
------	----------

回	月日	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	11月25日	総合救急医療 1	筋骨格系疾患の総論、主要症候、基本的対応、 脊椎疾患 の 原因 病態 症状 診断 治療法 の 理解 と 習得
2	11月25日	総合救急医療 2	関節疾患、筋疾患 の 原因 病態 症状 診断 治療法 の 理解 と 習得
3	12月2日	総合救急医療 3	皮膚系疾患の総論、主要症候、基本的対応 の 理解 と 習得
4	12月2日	総合救急医療 4	皮膚・軟部組織の感染症、アレルギー疾患 の 原因 病態 症状 診断 治療法 の 理解 と 習得
5	12月9日	総合救急医療 5	気道異物・消化管異物・耳目鼻性器異物・総頸 の 原因 病態 症状 診断 治療法 の 理解 と 習得
6	12月9日	総合救急医療 6	哺乳類・爬虫類・節足動物・海洋生物による咬傷 の 原因 病態 症状 診断 治療法 の 理解 と 習得
7	12月16日	総合救急医療 7	熱傷・化学損傷 の 病態・分類・主な症候・危険因子・緊急度重症度判断の方法・処置 の 理解 と 習得
8	12月16日	総合救急医療 8	電撃症・雷撃症・溺水 の 病態・分類・主な症候・危険因子・緊急度重症度判断の方法・処置 の 理解 と 習得
9	12月23日	総合救急医療 9	熱中症・偶発性低体温症・高山病 の 発生数の特徴 発生機序 分類 観察 処置 の 理解 と 習得
10	12月23日	総合救急医療 10	減圧障害・酸素欠乏症・凍傷・紫外線による障害 の 症状 分類 観察 処置 の 理解 と 習得
11			
12			
13			
14			
15			

救急救命士学科

科目名	総合救急医療Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Emergency Medicine Ⅲ			総時間数	40	単位	総合救急医療Ⅲ すべてで10
学年	3	学期	後期	曜日	火土	時限	5・6

担当教員	呉 教東	実務者経験	日本救急医学会専門医・指導医 評議員（前）：日本救急医学会・日本臨床救急医学会・日本脳神経外傷学会
------	------	-------	--

学習内容	過去の国家試験問題の解説、標準テキストの内容から作成した問題の自己学習、学生の疑問点を解説
到達目標	国家試験合格のための知識を習得

準備学習 時間外学習	
使用教材	救急救命士標準テキスト、過去の国家試験問題、ほか。
留意点 備考	

成績評価	国家試験模擬試験
------	----------

回	月日	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	10月31日	国家試験対策	過去の国家試験問題からB, C問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
2	11月14日	国家試験対策	過去の国家試験問題からB, C問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
3	11月28日	国家試験対策	過去の国家試験問題からB, C問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
4	12月12日	国家試験対策	過去の国家試験問題からB, C問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
5	12月15日	国家試験対策	過去の国家試験問題からB, C問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
6	1月9日	国家試験対策	過去の国家試験問題からB, C問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
7	1月12日	国家試験対策	過去の国家試験問題からA, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
8	1月19日	国家試験対策	過去の国家試験問題からA, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
9	1月23日	国家試験対策	過去の国家試験問題からA, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
10	2月6日	国家試験対策	過去の国家試験問題からA, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
11			
12			
13			
14			
15			

救急救命士学科

科目名	総合救急医療Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Emergency Medicine Ⅲ			総時間数	48	単位	総合救急医療Ⅲ すべてで10
学年	3	学期	後期	曜日	木	時限	5.6

担当教員	岸 正司	実務者経験	病院等で救急医療に30年携わる
------	------	-------	-----------------

学習内容	過去の国家試験問題の解説、標準テキストの内容から作成した問題の自己学習、学生の疑問点を解説
到達目標	国家試験合格のための知識を習得

準備学習 時間外学習	該当内容の予習・復習が必要
使用教材	救急救命士標準テキスト改定第9版または10版、過去の国家試験問題、ほか。
留意点 備 考	

成績評価	国家試験模擬試験
------	----------

回	月日	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	10月1日	呼吸器系疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
2	10月1日	呼吸器系疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
3	10月15日	呼吸器系疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
4	10月15日	呼吸器系疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
5	10月29日	循環器系疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
6	10月29日	循環器系疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
7	11月12日	循環器系疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
8	11月12日	循環器系疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
9	11月26日	消化器系疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
10	11月26日	消化器系疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
11	12月10日	消化器系疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
12	12月10日	消化器系疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
13	12月24日	泌尿・生殖・内分泌疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
14	12月24日	泌尿・生殖・内分泌疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
15	1月7日	血液・免疫・アレルギー疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題

16	1月7日	血液・免疫・アレルギー疾患	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
17	1月21日	その他	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
18	1月21日	その他	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
19	2月4日	意識障害	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
20	2月4日	意識障害	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
21	2月18日	外傷関係	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
22	2月18日	外傷関係	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
23	3月4日	中毒	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
24	3月4日	中毒	過去の国家試験問題からC, D問題を中心に、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題

救急救命士学科

科目名	総合救急医療Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Emergency Medicine Ⅲ			総時間数	32	単 位	総合救急医療Ⅲ すべてで10
学 年	3	学 期	後期	曜 日	期間中随時	時 限	5.6

担当教員	谷 康平	実務者経験	滋慶グループ国家試験センター顧問
------	------	-------	------------------

学習内容	過去の国家試験問題の解説、標準テキストの内容から作成した問題の自己学習、学生の疑問点を解説
到達目標	国家試験合格のための知識を習得

準備学習 時間外学習	該当内容の予習・復習が必要
使用教材	救急救命士標準テキスト改定第9版または10版、過去の国家試験問題、ほか。
留意点 備 考	

成績評価	国家試験模擬試験
------	----------

回	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	国家試験全般	過去の国家試験問題から出題傾向を分析し、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
2	国家試験全般	過去の国家試験問題から出題傾向を分析し、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
3	国家試験全般	過去の国家試験問題から出題傾向を分析し、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
4	国家試験全般	過去の国家試験問題から出題傾向を分析し、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
5	国家試験全般	過去の国家試験問題から出題傾向を分析し、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
6	国家試験全般	過去の国家試験問題から出題傾向を分析し、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
7	国家試験全般	過去の国家試験問題から出題傾向を分析し、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
8	国家試験全般	過去の国家試験問題から出題傾向を分析し、疑問点の解説、標準テキスト復習のための問題
9		
10		
11		

救急救命士学科

科目名	総合救急医療Ⅲ			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	General Emergency Medicine Ⅲ			総時間数	12	単 位	総合救急医療Ⅲ すべてで10
学 年	3	学 期	後期	曜 日	期間中随時	時 限	5.6

担当教員	濱田 智子	実務者経験	病院等で歯科医師として診療・治療に10年以上携わる
------	-------	-------	---------------------------

学習内容	専門基礎分野の解説、標準テキストの内容、自己学習、学生の疑問点を解説
到達目標	国家試験合格のための知識を習得

準備学習 時間外学習	該当内容の予習・復習が必要
使用教材	救急救命士標準テキスト改定第9版または10版、過去の国家試験問題、ほか。
留意点 備 考	適宜小テストを実施

成績評価	国家試験模擬試験
------	----------

回	授業計画【テーマ・内容・目標】	
1	炎症	定義・原因・分類に沿って復習し、自己の理解度を上げていくことが出来る。
2	免疫	防御機能・免疫の分類・免疫の流れに沿って復習し、自己の理解度を上げていくことが出来る。
3	感染、生化学	感染症分類・TCAサイクル・血液の分類・静止電位と活動電位
4	代謝系	糖尿病について
5	泌尿器系 酸塩基平衡	ネフロンについて、アルカローシス・アシドーシス
6	中毒	中毒の原因・種類 自己免疫疾患など、学生の苦手分野の総復習
7		
8		
9		
10		
11		